

# 令和9年度「学校推薦型選抜（地域教員希望枠特別入試）」について【予告（第2報）】

令和7年12月4日 大阪教育大学

令和7年7月9日に公表した以下の「令和9年度（令和8年度実施）新たな『学校推薦型選抜（地域教員希望枠特別入試）』について【予告（第1報）】」に関して、新たな内容が決まりましたので、次頁以降において予告（第2報）をお知らせします。

第1報

## 令和9年度(令和8年度実施)新たな「学校推薦型選抜(地域教員希望枠特別入試)」について(予告)

令和7年7月9日 大阪教育大学  
令和7年12月4日 一部修正

本学は大阪府教育庁との連携のもと、中学校・高等学校の各教科の免許状に加え、特別支援学校教諭の免許を有する教員を養成する、大学入学前から教員採用までの一貫した特別支援教育プログラムを実施します。

プログラム詳細

「地域教員希望枠を活用した特別支援教育プログラムについて」  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/academic/reorganization/tokubetsushienprogram.html>

※この事業は、本学が令和6年度に採択された【文部科学省における補助事業「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業】として行うものです。



この特別支援教育プログラムでの学びは、学部4年間で普通学校の教員免許状を取得し、さらに1年間を特別支援教育特別専攻科に進学し、特別支援学校の教員免許状を取得後、大阪府内の支援学校（特に中学部・高等部）の教員として活躍できる人材を養成するプログラムです。**令和9年度入試より、このプログラムを志望する全国の高校生を対象にした新たな学校推薦型選抜（地域教員希望枠特別入試）を実施します。**

### 地域教員希望枠特別入試の概要

詳細は決定次第、本学ウェブページで順次公表予定

募集人員

10名（学校教育教員養成課程 教科教育専攻 各コース1名程度）※出願時に希望するコースを選択

選抜方法

大学入学共通テストを課さず、特別支援教育への関心を測るための面接に加え、希望するコース別に、教科・科目に係る個別テスト、小論文、実技試験又は面接（口頭試問含む）のうちいずれか1つ以上を課す。

出願資格及び要件

次のすべてに該当し、校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者。ただし、推薦人数は1校2名以内とする。

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- ② 学部4年間で中学校・高等学校教諭免許状を取得し、学部卒業後に本学1年課程の特別支援教育特別専攻科に進学のうえ、特別支援学校教諭免許状を取得し、将来、大阪府内の支援学校（特に中学部・高等部）での学校教育に携わることを強く希望する者
- ③ 将来、大阪府内の支援学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると校長が判断する者
- ④ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上で、校長の推薦を受けた者

### 本プログラムにより養成する人材像

小学校・中学校・高等学校の各教科指導に必要となる知識・技能を修得し、児童・生徒を自律的な学習者へと導くことを目的として、児童・生徒の主体的な学びを支援するとともに、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善に取り組みながら、学校教育の質の向上に寄与することができる教科指導力のある教員を養成する。加えて、子どもたちの能力や個性に応じた高度な教育的支援が実践できる教員養成を目的として、発達障がいはじめとした特別支援教育に関する専門教育を身に付けた実践的な指導力のある教員を養成する。

### 取得できる免許状

教育学部学校教育教員養成課程（4年）：小学校教諭一種、中学校教諭一種※、高等学校教諭一種※  
特別支援教育特別専攻科（1年）：特別支援学校教諭一種（「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」に関する教育領域）

※中学校及び高等学校教諭免許の教科については、出願時に希望した教科コースで取得できる教科

（例）国語教育コースを希望した場合

- 学部：小学校教諭一種、中学校教諭一種（国語）、高等学校教諭一種（国語）
- 特別専攻科：特別支援学校教諭一種

本件についての問い合わせ先  
大阪教育大学入試課（受付時間 平日9:00～17:00）  
TEL : 072-978-3324 Mail : nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

## 1 はじめに

本学は大阪府教育庁との連携のもと、中学校・高等学校の各教科の免許状に加え、特別支援学校教諭の免許を有する教員を養成する、大学入学前から教員採用までの一貫した特別支援教育プログラムを実施します。

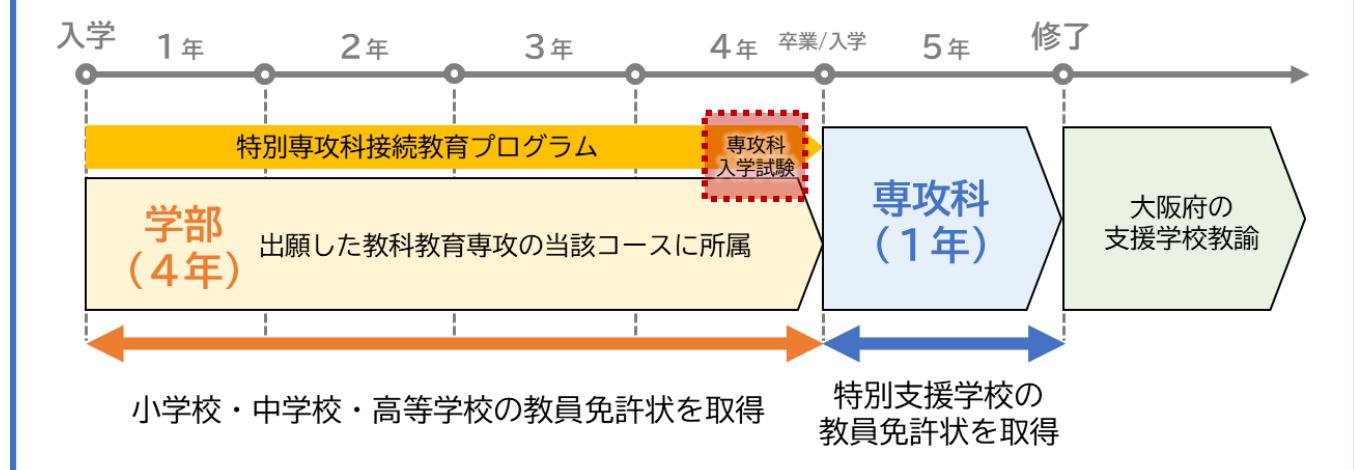
プログラム詳細 「地域教員希望枠を活用した特別支援教育プログラムについて」  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/academic/reorganization/tokubetsushienprogram.html>



※この事業は、本学が令和6年度に採択された【文部科学省における補助事業「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業】として行うものです。

この特別支援教育プログラムでの学びは、学部4年間で普通学校の教員免許状を取得し、さらに1年間を特別支援教育特別専攻科に進学し、特別支援学校の教員免許状を取得後、大阪府内の支援学校（特に中学部・高等部）の教員として活躍できる人材を養成するプログラムです。令和9年度入試より、このプログラムを志望する全国の高校生を対象にした新たな学校推薦型選抜（地域教員希望枠特別入試）を実施します。

## 地域教員希望枠を活用した特別支援教育プログラム



## 2 地域教員希望枠特別入試の概要

①募集人員：10名（学校教育教員養成課程 教科教育専攻 各コース1名程度）

※コースはP.3の「4 取得できる免許状」を参照してください。

※出願時に希望するコースを選択する必要があります。

※美術・書道教育コースにおいては美術分野のみ募集を行います。

※合格者数（入学手続者数）が募集人員に満たなかった場合は、原則「共通テストを課す推薦」又は「共通テストを課さない推薦」の合格者で補充します。「共通テストを課す推薦」及び「共通テストを課さない推薦」を実施していないコースにおいては、「一般選抜（前期日程）」又は「一般選抜（後期日程）」の合格者で補充します。

②選抜方法：大学入学共通テストを課さず、特別支援教育への関心を測るための面接に加え、希望するコース別に、教科・科目に係る個別テスト、小論文、実技試験又は面接（口頭試問含む。）のうちいずれか1つ以上を課します。

### ③出願資格及び要件

次のすべてに該当し、校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者。ただし、推薦人数は1校2名以内とします。

- (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (2) 学部4年間で中学校・高等学校教諭免許状を取得し、学部卒業後に本学1年課程の特別支援教育特別専攻科に進学のうえ、特別支援学校教諭免許状を取得し、将来、大阪府内の支援学校（特に中学部・高等部）での学校教育に携わることを強く希望する者
- (3) 将来、大阪府内の支援学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると校長が判断する者
- (4) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上で、校長の推薦を受けた者

## 3 本プログラムにより養成する人材像

小学校・中学校・高等学校の各教科指導に必要となる知識・技能を修得し、児童・生徒を自律的な学習者へと導くことを目的として、児童・生徒の主体的な学びを支援するとともに、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善に取り組みながら、学校教育の質の向上に寄与することができる教科指導力のある教員を養成する。加えて、子どもたちの能力や個性に応じた高度な教育的支援が実践できる教員養成を目的として、発達障がいをはじめとした特別支援教育に関する専門教育を身に付けた実践的な指導力のある教員を養成する。

## 4 取得できる免許状

教育学部学校教育教員養成課程（4年）：小学校教諭一種、中学校教諭一種※、高等学校教諭一種※

特別支援教育特別専攻科（1年）：特別支援学校教諭一種（「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」に関する教育領域）

※中学校及び高等学校教諭免許状の教科については、出願時に希望したコースで取得できる教科が主となる。（下表参照）

学部	課程	専攻	コース	小学校	中学校	高等学校		
教育学部 学校教育教員養成課程	教科教育専攻	国語教育コース	●	●国語	●国語	○国語	□（各コースの中に記載した以外の教科）	□（各コースの中に記載した以外の教科）
		英語教育コース	●	●英語	●英語	○英語		
		社会科教育コース	●	●社会	●社会	○地理歴史 ○公民		
		数学教育コース	●	●数学	●数学	○数学		
		理科教育コース	●	●理科	●理科	○理科		
		技術教育コース	●	●技術	●技術	○工業		
		家政教育コース	●	●家庭	●家庭	○家庭		
		保健体育コース	●	●保健体育	●保健体育	○保健体育		
		音楽教育コース	●	●音楽	●音楽	○音楽		
		美術・書道教育コース【美術分野】	●	●美術	●美術	○美術		

●は卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。

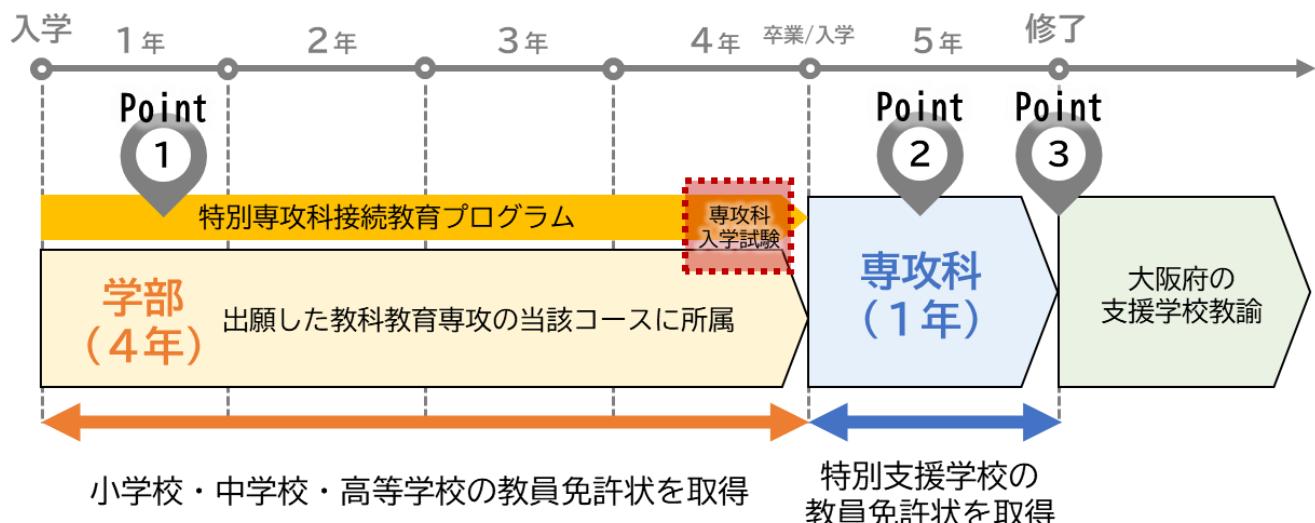
○は卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することにより取得が可能な教員免許状。

（なお、高等学校教諭免許状については、教育課程上「取得が可能な教員免許状」と記載していますが、地域教員希望枠で入学した方は、学部在学中に必要な単位を修得し、卒業時に必ず高等学校教諭免許状を取得しなければなりません。）

□は取得をめざすことができる教員免許状。

（ただし、●以外の免許状は卒業と同時に取得することは保証されません。○及び□は免許・教科別の受入人数や条件（選考等）があるため、入学後に申請が必要であり、履修の許可を得られるとは限りません。また、履修の許可を得られても、時間割や科目ごとの受講人数等により4年間では取得できない場合があります。□の免許状取得に必要な科目は、すべて柏原キャンパスにて開講予定です。）

## 5 地域教員希望枠を活用した特別支援教育プログラムについて



### Point 1

#### 特別専攻科接続教育プログラムの実施

教育学部4年間を通して各教科コースの授業の受講と並行して実施する「特別専攻科接続教育プログラム」により、特別支援教育に対する関心を深めるとともに、障がいの特性に応じた教科指導の在り方や、特別支援学校における教科指導の実際についてより理解を深めることができます。

<主な授業等（仮称）>

支援学校教育概論／支援学校教科指導特論／支援教育教科指導インターンシップ

### Point 2

#### 特別支援教育特別専攻科の入学検定料・入学料・授業料の免除

学校推薦型選抜（地域教員希望枠）により入学し、かつ教育学部で所定の課程を修了後に、**本学特別支援教育特別専攻科**に進学、その際にかかる入学検定料、入学料及び授業料（1年間）がすべて免除になります。

### Point 3

#### 大阪府公立学校教員採用選考テストにおける新たな選考区分について

学校推薦型選抜（地域教員希望枠）により入学し、かつ教育学部で所定の課程を修了後、特別専攻科1年間で所定の課程を修了見込みの者で、大阪府公立学校教員採用選考テストにおいて支援学校中学部又は高等部に出願した者を対象とした、**新たな選考区分**について大阪府教育庁と協議しているところです。

※選考区分に関する詳細は、決まり次第大学ウェブページで公表します。

## 6 入学試験日程

【1日目】令和8年11月21日（土）：教科に関する検査

【2日目】令和8年11月22日（日）：特別支援教育への関心を測る検査

ただし、各コースの志願数によっては、検査の日程を変更する場合があります。

（例：「教科に関する検査」の一部を2日目に実施する など）

## 7 入学者選抜方法等

入学者選抜は、大学入学共通テストを課さず、特別支援教育への関心を測るための面接に加え、希望するコース別に本学が行う教科・科目に係る個別テスト等の成績、調査書及び志願者本人が記載する書類等の内容を総合して行います。

次の表以後、「個別テスト」は「教科・科目に係る個別テスト」を指しています。

学部	課程	専攻	コース	選抜方法等	学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない推薦（地域教員希望枠））				
					入学定員の一部について、出身校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として選抜する				
大学入学 共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等					志願者本人が記載 する資料等		
		教科に関する検査		特別支援教育への 関心を測る検査		志願者本人が記載 する資料等			
教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育専攻			国語教育コース	×	×	×	○	○	■（志望理由書）
			英語教育コース	×	×	×	○	○	■（志望理由書）
			社会科教育コース	×	×	×	○	○	■（志望理由書）
			数学教育コース	×	○	×	×	○	■（志望理由書）
			理科教育コース	×	×	×	○	○	■（志望理由書）
			技術教育コース	×	○	×	×	○	■（志望理由書）
			家政教育コース	×	×	×	○	○	■（志望理由書）
			保健体育コース	×	×	○	○	○	○（競技成績に関する証明書） ■（志望理由書）
			音楽教育コース	×	×	○	×	○	■（志望理由書）
			美術・書道教育コース 【美術分野】	×	×	○	○	○	■（志望理由書）

- ・○については、該当の選抜方法を実施します。（得点化を行います。）
- ・×については、実施しません。
- ・「面接A」は、「教科に関する面接（口頭試問含む。）」を行います。
- ・「面接B」は、「特別支援教育への関心を測る面接」を行います。
- ・■については、他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。（得点化は行いません。）

## 8 教科・科目に係る個別テスト等の配点等

共通テストを課さない学校推薦型選抜（地域教員希望枠）で、本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等は次のとおりです。

なお、教科・科目に係る個別テスト等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

学部	課程・学科・専攻・コース		検査項目	数学	理科 (物理)	実技	面接A	面接B	証明書	合計	加点
教育学部 学校教育教員養成課程	教科教育専攻	国語教育コース	面接			300	200		500		
		英語教育コース	面接			300				500	最大50
		社会科教育コース	面接			300	200		500		
		数学教育コース	個別テスト 面接	300 <sup>(注1)</sup>			200		500		
		理科教育コース	面接			300	200		500		
		技術教育コース	個別テスト 面接	300 <sup>(注2)</sup>			200		500		
		家政教育コース	面接			300	200		500		
		保健体育コース	実技 面接		100	100	200	100	500		
		音楽教育コース	実技 面接		300		200		500		
		美術・書道教育コース 【美術分野】	実技 面接		200	100	200		500		

(注1) 出題範囲は次のとおりです。

数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C

- ・「数学I」、「数学II」、「数学A」は全範囲から出題します。
- ・「数学III」は「極限」、「微分法」、「数学B」は「数列」、数学Cは「ベクトル」から出題します。

(注2) 出題範囲は次のとおりです。

数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C・物理基礎・物理

- ・「数学I」、「数学II」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎」は全範囲から出題します。
- ・「数学III」は「極限」、「微分法」、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」、「物理」は「様々な運動」、「電気と磁気」から出題します。

## 9 英語能力測定試験の成績利用

英語教育コースにおいて、本学が定める次の英語能力測定試験の等級又はスコアを取得している場合は、「特別支援教育への関心を測る面接」を除いた教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。なお、本学指定の提出書類（成績証明書など）は、令和8年7月下旬に公表予定の「学校推薦型選抜学生募集要項」にてご確認ください。

「特別支援教育への関心を測る面接」を除いた教科・科目に係る個別テスト等の得点への加算	実用英語技能検定（英検）*	TOEFL iBT®	IELTS **	TOEIC® (L&R)	GTEC CBT タイプ /GTEC 検定版 ***
50 点	準1級以上	80 以上	6.0 以上	730 以上	1180 以上
20 点	2級	65 以上	5.0 以上	600 以上	1060 以上

\*英検は従来型の英検に加えて、英検S-CBT、英検CBT、英検S-Interviewを対象とします。

\*\*「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

\*\*\*「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

(注) 高等学校入学以降に受検した英語能力測定試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

## 10 問い合わせ先

大阪教育大学入試課（受付時間 平日 9:00～17:00）

TEL：072-978-3324

Mail：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp